

事業所名		アソビトマナビ				支援プログラム		作成日		2024 年		10 月		28 日	
法人（事業所）理念		「すべての子供に笑顔と成長の機会を」という経営理念のもと 子供たちが安全で安心できる環境の中で個々の能力を最大限に発揮し、健やかに成長できる場を提供する													
支援方針		法人名の由来でもある武田信玄の「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」という言葉を信条に以下を支援の指針とする ・個性を尊重し、ニーズに応じた子供第一のサポートをすること ・愛と尊重をもって思いやりのある温かいコミュニケーションを心がけること ・学びと遊びのバランスを大切に生きて力を育むこと													
営業時間			9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無		ありなし				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	【健康管理】 衛生意識を身に着け、自身の健康状態を適切に申告できることを目指す。来所時に手洗いを促したり、健康状態の把握・確認を行う。 【生活リズム・スキル】 時間的なリズムや生活におけるスキルを身に着けることを目指す。帰宅時に何時には準備を始めると確認したり、荷物の片付けを自分で行えるよう声かけを行う。													
	運動・感覚	・学習中の姿勢保持 ・室内外での体を動かす遊びを通して怪我なく運動できる感覚を養う ・電子ピアノを使って楽器を使う感覚や演奏の楽しさを通してリトミック、リズム体操などの療育を行う													
	認知・行動	「自分と他人の考えは違う」という大人になっていくに連れてより重要になっていくものの見方を利用児にも伝わる平易な言葉を使って理解していけるよう支援する													
	言語 コミュニケーション	適切なコミュニケーション能力や自己表現能力の向上を支援し、個人の発達レベルに応じて社会的成長を促す ・帰りの会などでの発表の場を設けて聞く・話すスキルを身に付ける ・集団で過ごす機会を意図的に作ることで社会的コミュニケーション能力を育む													
	人間関係 社会性	・集団で行動することを通じてルールを踏まえながら人と合わせて行動することを学んでもらう ・共同で行う作業を通して人と一緒に何かをする楽しさを感じてもらう ・子供たち同士でいさか이가あった時、すれ違いのあったそれぞれの考えを言葉に出して理解し合える声かけを行う													
	学習	5領域以外に学習に特化したプログラムを用意することで子供たちの考える力をはじめとする想像力、忍耐力や理解力など様々な能力を育み将来性を高めていく ・宿題サポートを基本とし支援する ・知育要素を含む学習機材を設置し誰でも触れられるようにする ・希望者には支援級から通常級への移行を目標とした学習指導をしていく													
家族支援		利用児の支援を通し、家庭におけるニーズも把握して満たしていくことができるよう保護者様とのコミュニケーションを日常的にしっかり図っていく							移行支援		進学あるいは就労も含め現在のいる場所から将来的なライフステージの変化を踏まえた支援を日常的に意識して行う				
地域支援・地域連携		相談支援事業所をはじめ関係する他事業所、医療機関、学校、児童相談所等とも情報共有して連携を図る							職員の質の向上		・外部研修への参加 ・職員間で資料を作成して事業所内で行う内部研修の実施				
主な行事等		・季節の行事（お花見、クリスマス会等） ・見学・外出行事（工場見学、博物館見学等）													